

本市における在宅医療・介護等の現状について

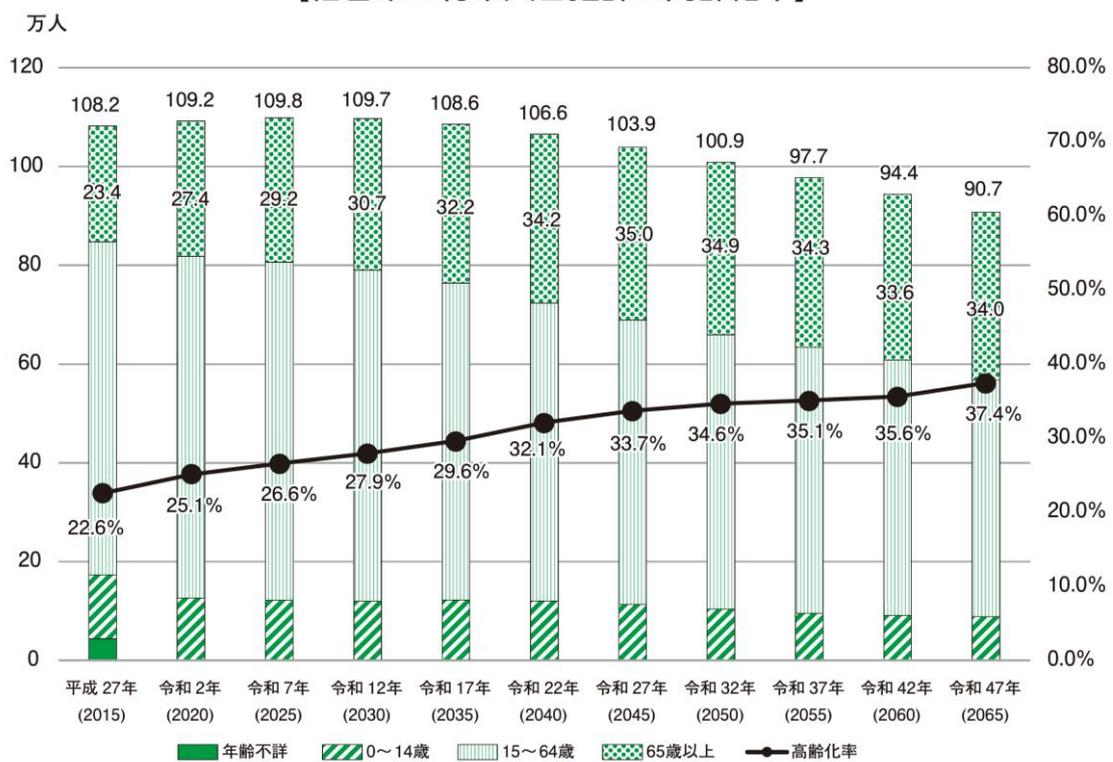
I 本市の高齢者を取り巻く現状

1 本市の高齢者人口の推移と将来推計

・本市の65歳以上の高齢者人口は、平成27年10月1日現在で約23万4千人だったが、団塊の世代が全員75歳以上に達する令和7(2025)年には、約29万2千人、また、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達する令和22(2040)年には、約34万2千人と上昇を続け、令和27(2045)年頃にピークを迎える見込み。

・本市の高齢化率は全国平均を下回っているものの、年々上昇を続け、令和22(2040)年では30%を超え、高齢者人口がピークを迎えた後も引き続き上昇傾向が続く見込み。

【仙台市の将来人口推計と高齢化率】

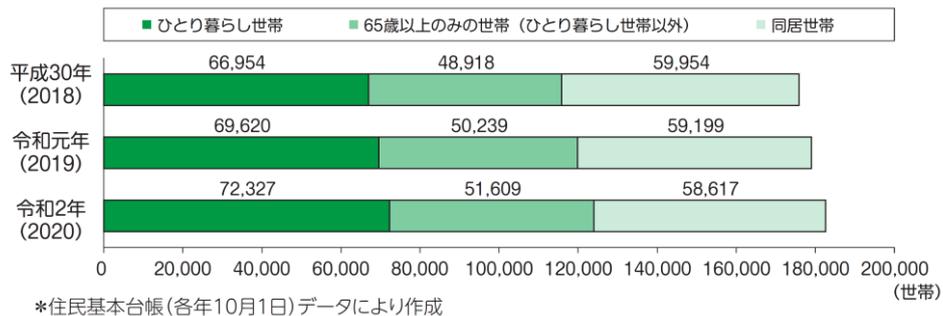


※平成27年は国勢調査結果(高齢化率は年齢不詳を除いて算出)、令和2年以降は仙台市まちづくり政策局資料(令和2年10月1日時点の推計人口をもとに独自推計)より作成

2 本市の在宅高齢者の世帯状況

- ・本市の高齢者のいる世帯数は、令和2年10月1日現在182,553世帯で、平成30年から令和2年の3年間で3.8%の増となっている。
- ・このうち、高齢者以外の方と同居している世帯は2.2%の減となっている一方、ひとり暮らし世帯は8.0%の増、65歳以上のみの世帯（ひとり暮らし世帯以外）は5.5%の増となっている。

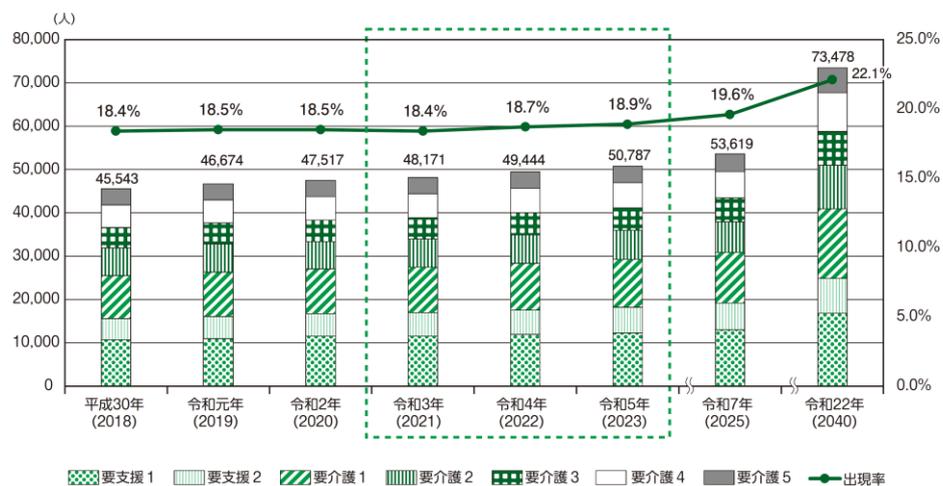
【本市の在宅高齢者の世帯状況】



3 本市の要介護・要支援認定者数の現状と推計

- ・本市の要介護・要支援認定者数は、令和2年10月1日現在47,517人で、出現率（第1号被保険者数に対する要介護・要支援認定者数の割合）は18.5%となっている。
- ・今後も要介護・要支援認定者数の9割弱を占める後期高齢者数の増加、認知症高齢者数の増加が考えられ、令和5（2023）年における要介護・要支援認定者数は50,787人、出現率18.9%と見込んでいる。

【本市の要介護・要支援認定者数の推移】



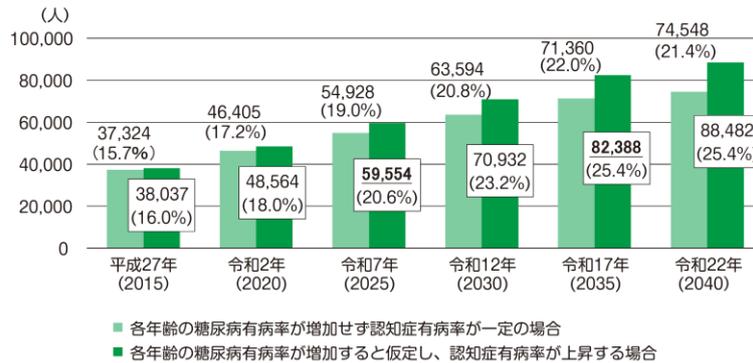
※令和2年までは実績(各年10月1日)、令和3年以降は直近の出現率の伸び率を基に推計
 ※出現率の推移は第1号被保険者の年齢構成に影響を受けるため、グラフの要介護・要支援認定者数の増減の推移と必ずしも連動しない。

4 本市の認知症高齢者数の推計

・厚生労働省が平成27年1月に公表した「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、高齢化の進展に伴いさらに認知症高齢者数が増加することを見込んでおり、令和7（2025）年には全国で約700万人前後になると見込んでいる。

・認知症の有病率は、糖尿病の有病率の増加に伴い上昇することが明らかになっている。糖尿病有病率は近年増加傾向にあり、この糖尿病有病率が今後も上昇すると仮定し推計した場合、本市の認知症高齢者数は、令和7（2025）年に約6万人となり、令和17（2035）年に8万人を超えることが予想される。

【本市の認知症高齢者数の推計】



※()は65歳以上人口に占める認知症有病率
 ※65歳以上人口(国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口(H25.3)」)を基に、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)」より推計

5 高齢者一般調査・要介護者等調査の実施結果

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、高齢者福祉サービスや介護保険サービスの利用状況および今後の利用意向などを把握するために、令和元年11月から12月にかけて「高齢者一般調査」、「要介護者等調査」を実施した。

以下に、調査結果より本市の医療・介護連携等に関連する主な項目について、記載する。

※次ページ以降に掲げる「件数」は、当該質問についての回答数を表しており、質問によって異なる場合がある

◆高齢者一般調査の概要

○調査対象者

令和元年9月末時点において、仙台市在住の65歳以上の方(約25万3千人)から、要介護・要支援認定者を除き、無作為抽出した5千人

○調査方法

調査対象者に調査票を郵送し、返送していただくもの

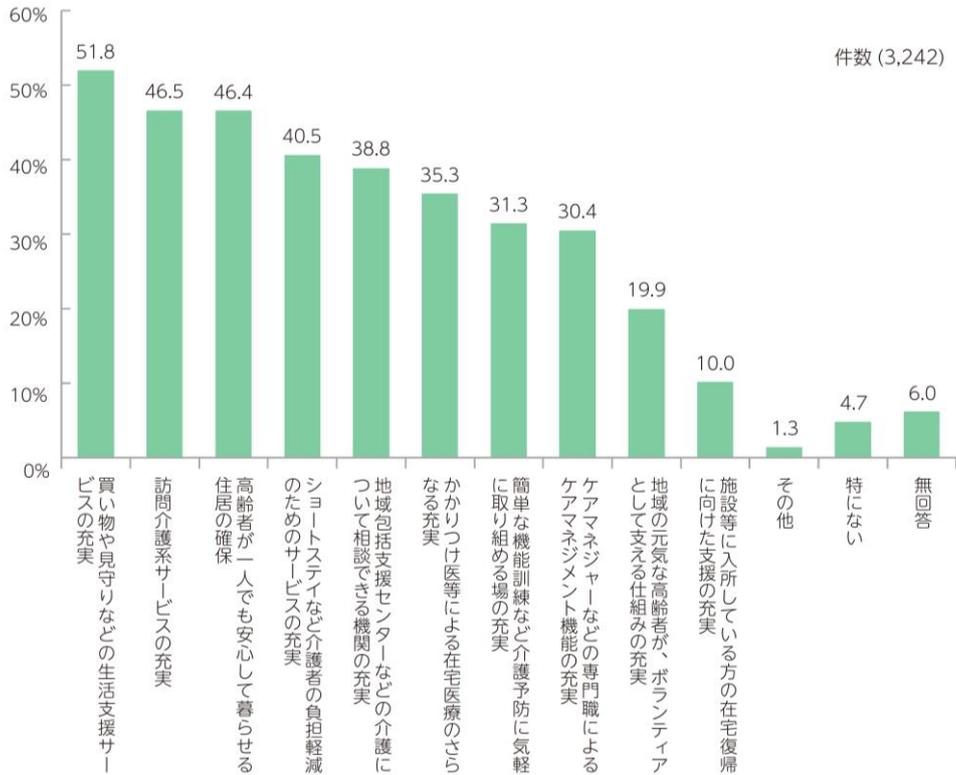
○回収結果

有効回収数 3,269件 (有効回収率65.4%)

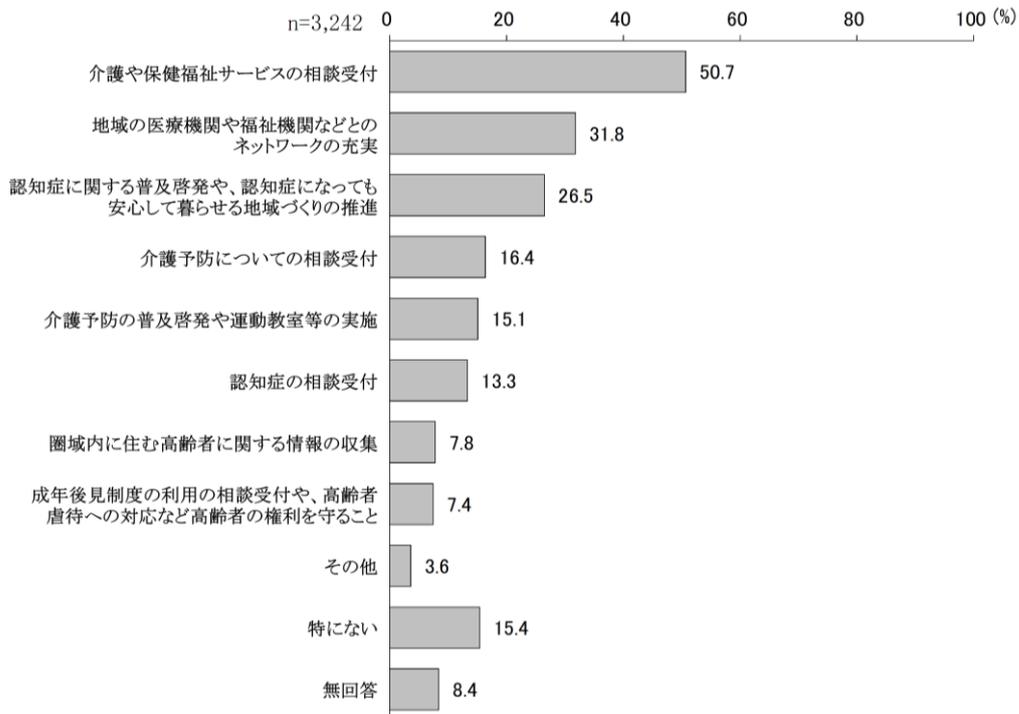
集計対象者数 3,242件

※集計対象者数は、有効回収数から、「死亡」や「障害等により回答できない」等を除いたもの

(1) 地域包括ケアシステムのために必要なこと（複数回答）



(2) 地域包括支援センターに今後期待すること（複数回答）



◆要介護者等調査の概要

○調査対象者

令和元年9月末時点において、仙台市在住の要介護等認定を受けている方（約4万6千人）から、無作為抽出した5千人

○調査方法

調査対象者に調査票を郵送し、返送していただくもの

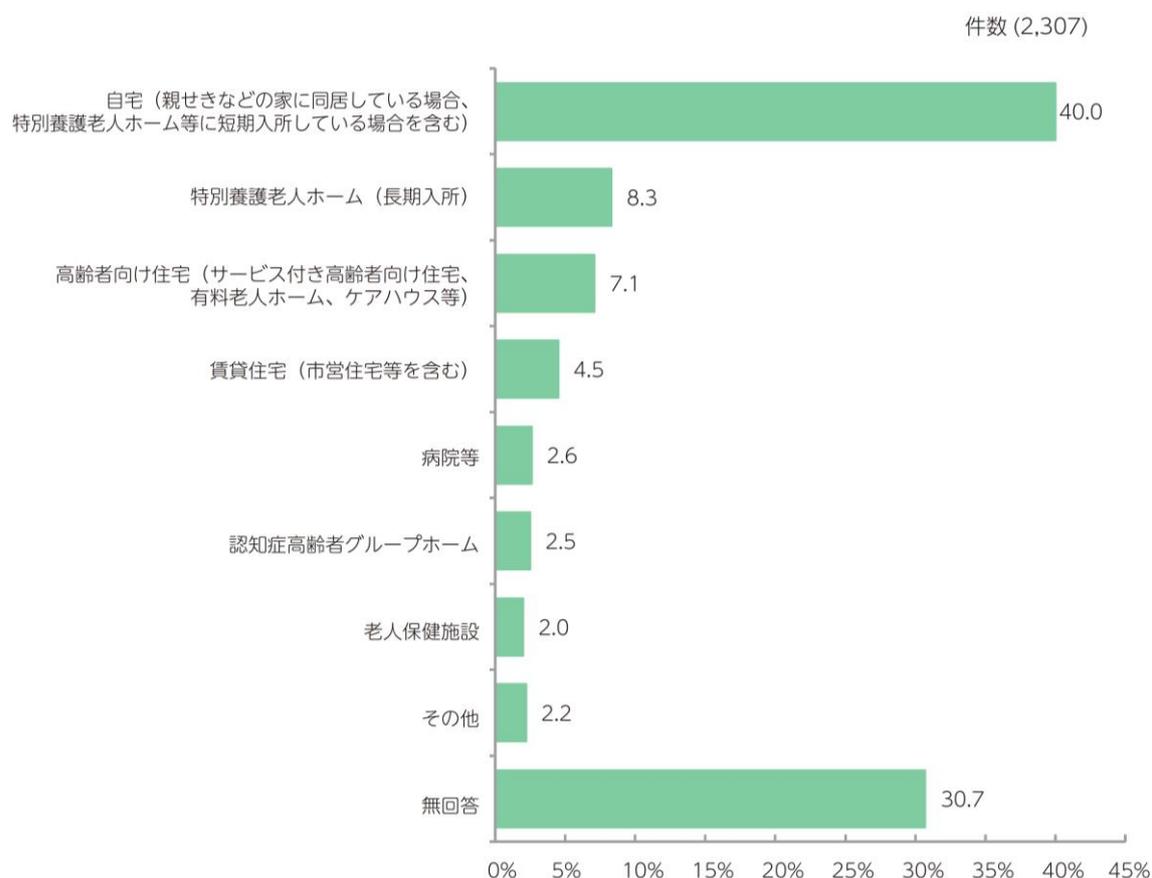
○回収結果

有効回収数 2,725件（有効回収率54.5%）

集計対象者数 2,622件

※集計対象者数は、有効回収数から、「死亡」や「障害等により回答できない」等を除いたもの

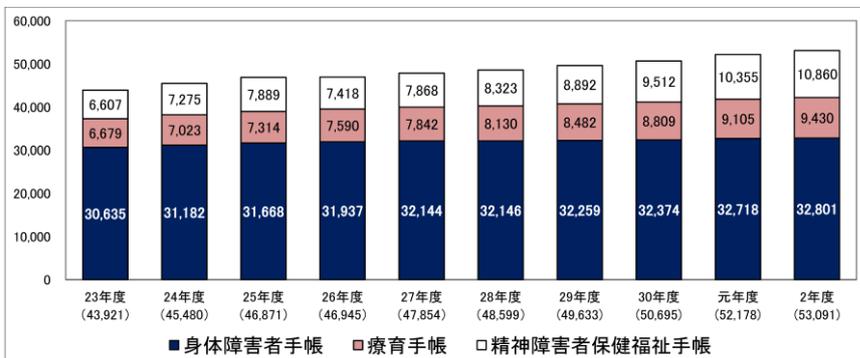
（1）今後介護を受けたい場所



Ⅱ 障害者手帳所持者の現状

1 障害者手帳所持者数の推移

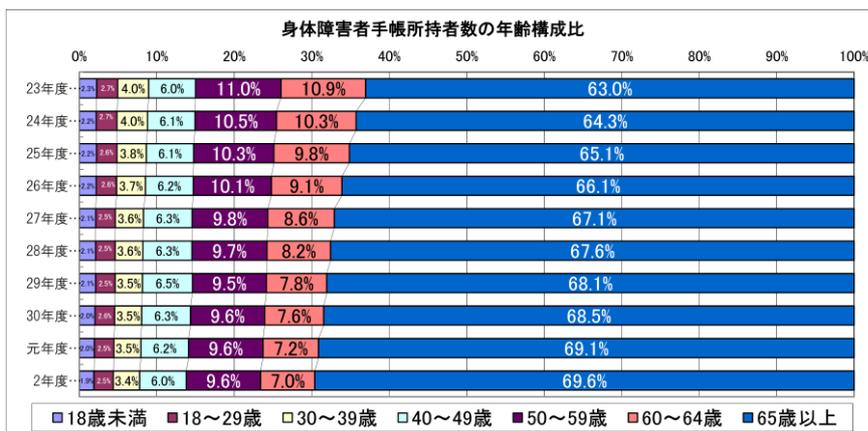
- ・令和2年度末時点の総数は53,091人であり、人口比率では4.8%となっている。



令和3年度 仙台市障害者施策推進協議会（第1回）資料より

2 身体障害者手帳所持者数の年齢構成比

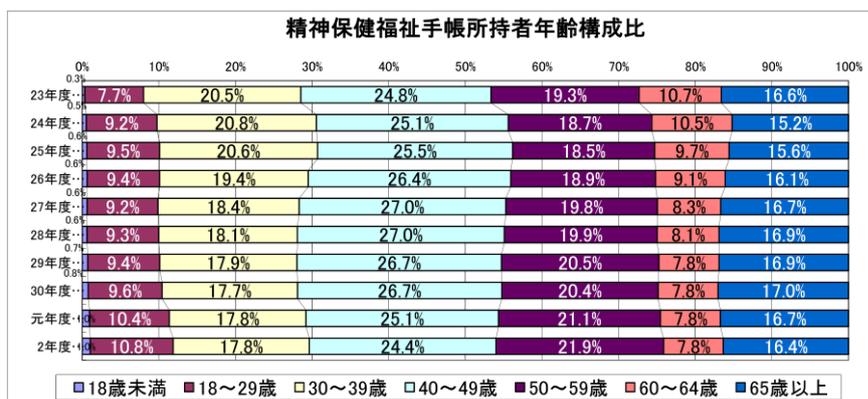
- ・年齢構成比に大きな変化はなく、65歳以上の所持者比率は増加しており、令和2年度末時点で69.6%となっている。



令和3年度 仙台市障害者施策推進協議会（第1回）資料より

3 精神保健福祉手帳所持者数の年齢構成比

- ・18歳未満の占める割合が増加している。40～49歳の占める割合は依然として最も大きいものの、近年は減少に転じている。



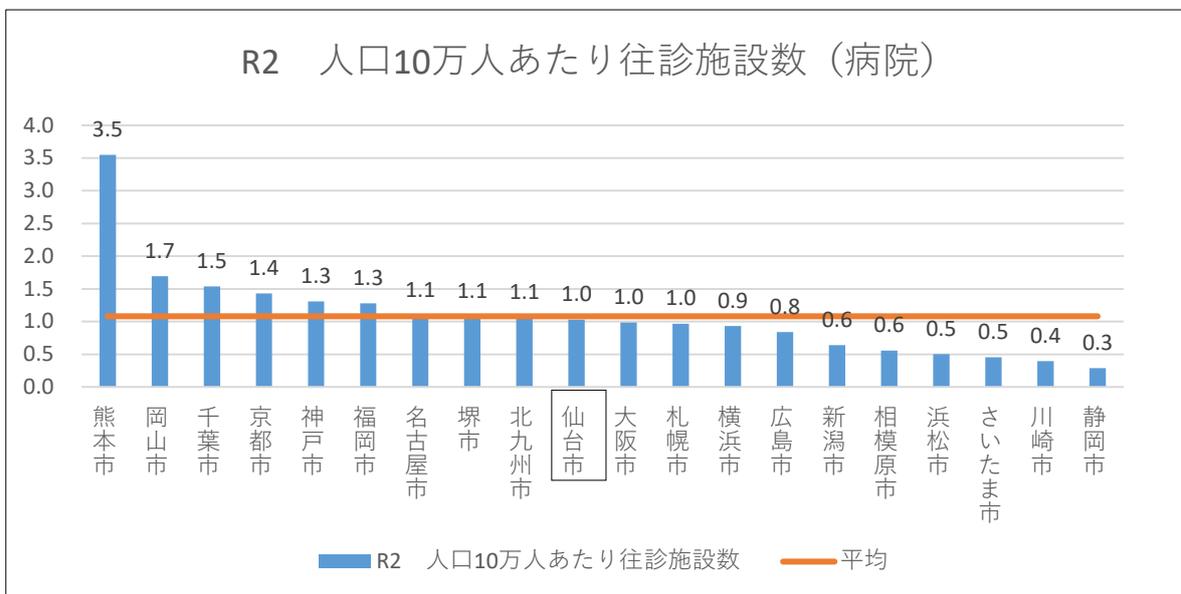
令和3年度 仙台市障害者施策推進協議会（第1回）資料より

Ⅲ 在宅医療にかかる政令市データ比較

●往診施設数（病院）

仙台医療圏（令和2年実数）	14
仙 台 市（令和2年実数）	11
医療圏に占める仙台市シェア	78.6%

仙台市 往診施設数（病院）
R2:11、H29:8、H26:10



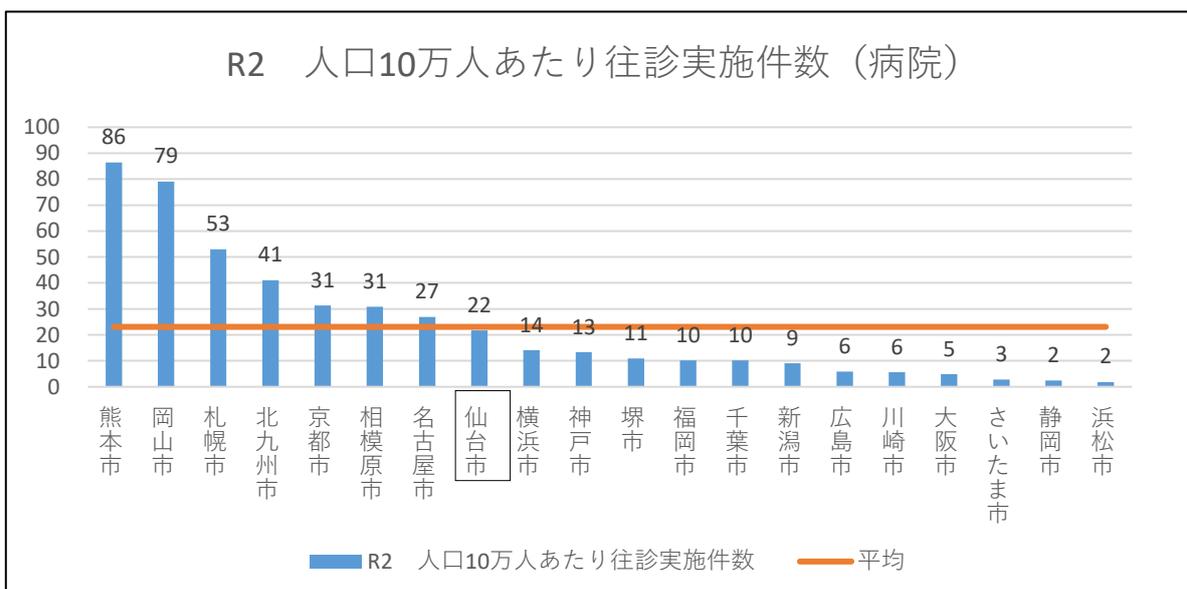
厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

※往診：通院できない患者の要請を受けて、医師がその都度、診療を行うもの

●往診実施件数（病院）※実施件数は9月中の数

仙台医療圏（令和2年実数）	247
仙 台 市（令和2年実数）	232
医療圏に占める仙台市シェア	93.9%

仙台市 往診実施件数（病院）
R2:232、H29:64、H26:114

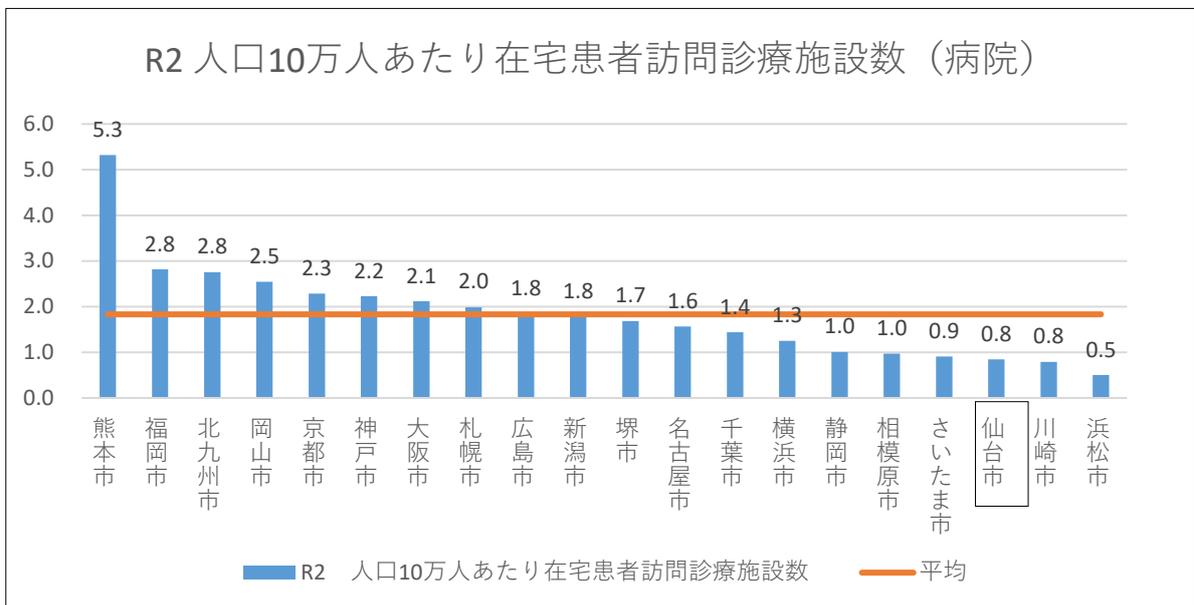


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●在宅患者訪問診療施設数（病院）

仙台医療圏（令和2年実数）	14
仙 台 市（令和2年実数）	9
医療圏に占める仙台市シェア	64.3%

仙台市 在宅患者訪問診療施設数（病院）
R2:9、H29:10、H26:12



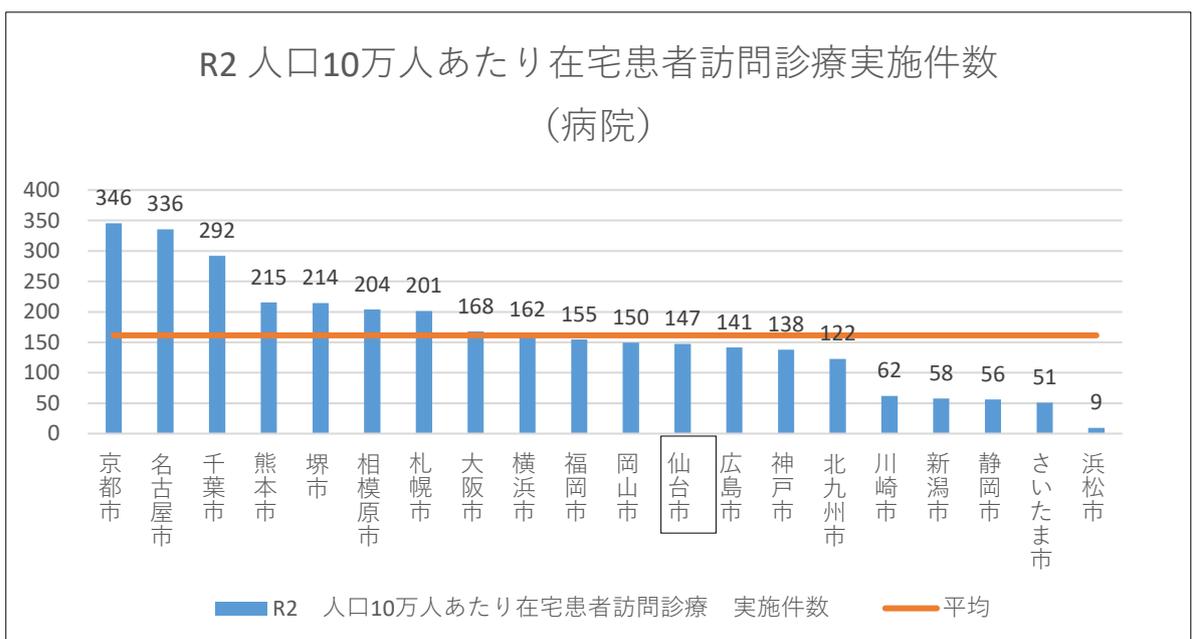
厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

※訪問診療：1週間ないし2週間に1回の割合で定期的、且つ、計画的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を行うもの

●在宅患者訪問診療実施件数（病院）※実施件数は9月中の数

仙台医療圏（令和2年実数）	1,701
仙 台 市（令和2年実数）	1,571
医療圏に占める仙台市シェア	92.4%

仙台市 在宅患者訪問診療実施件数（病院）
R2:1,571、H29:821、H26:930

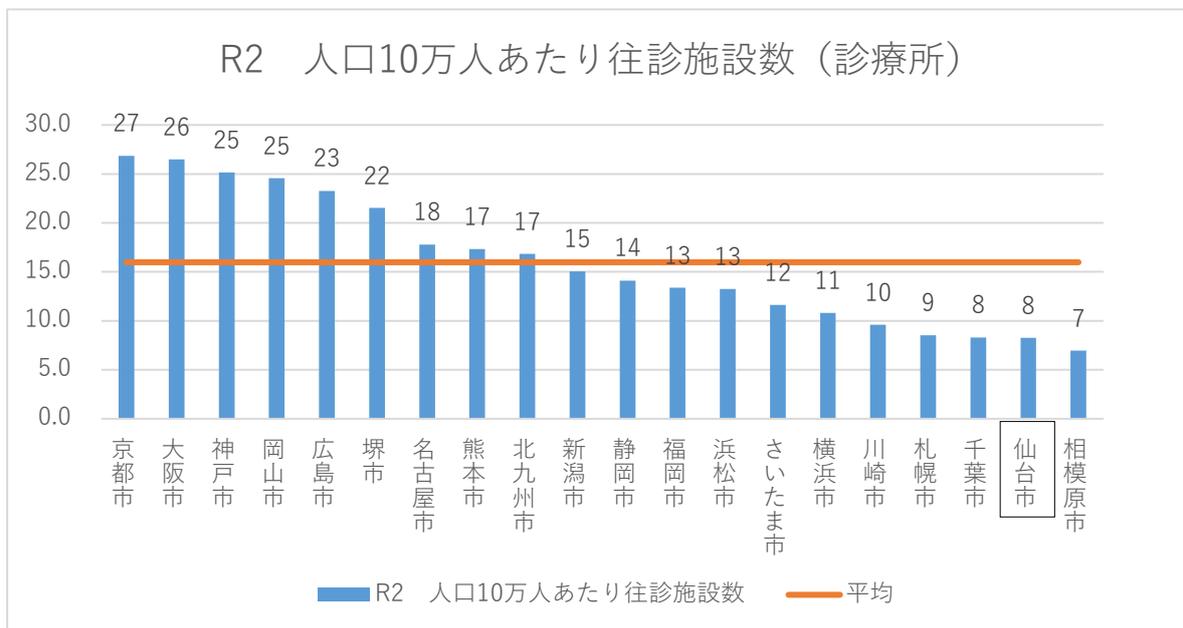


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●往診施設数（診療所）

仙台医療圏（令和2年実数）	121
仙 台 市（令和2年実数）	88
医療圏に占める仙台市シェア	72.7%

仙台市 往診施設数（診療所）
R2:88、H29:106、H26:133

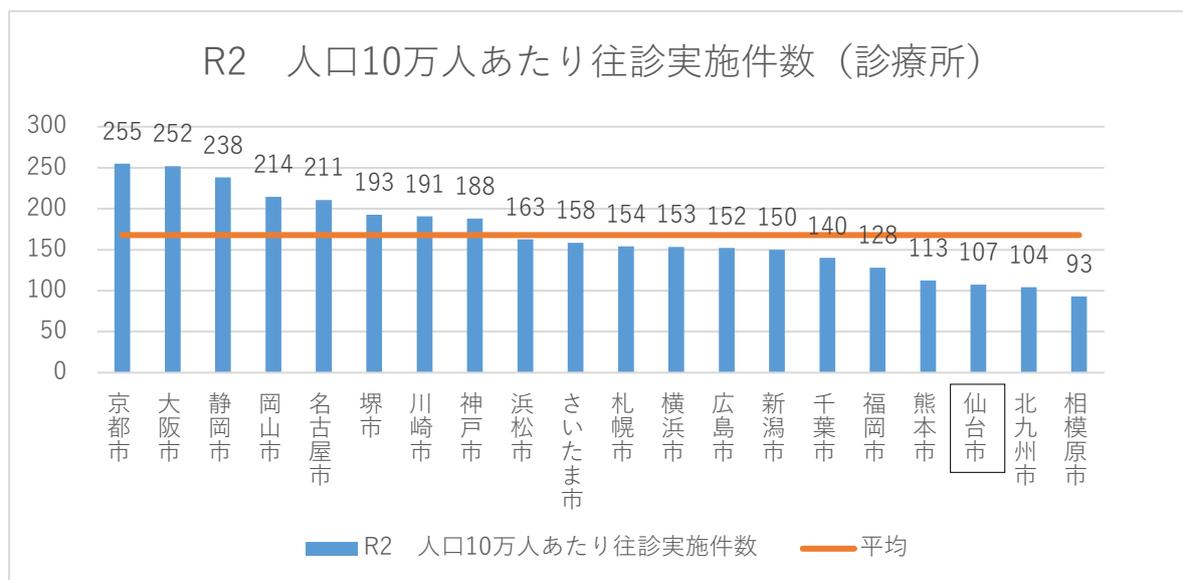


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●往診実施件数（診療所）※実施件数は9月中の数

仙台医療圏（令和2年実数）	1,473
仙 台 市（令和2年実数）	1,145
医療圏に占める仙台市シェア	77.7%

仙台市 往診実施件数（診療所）
R2:1,145、H29:872、H26:948

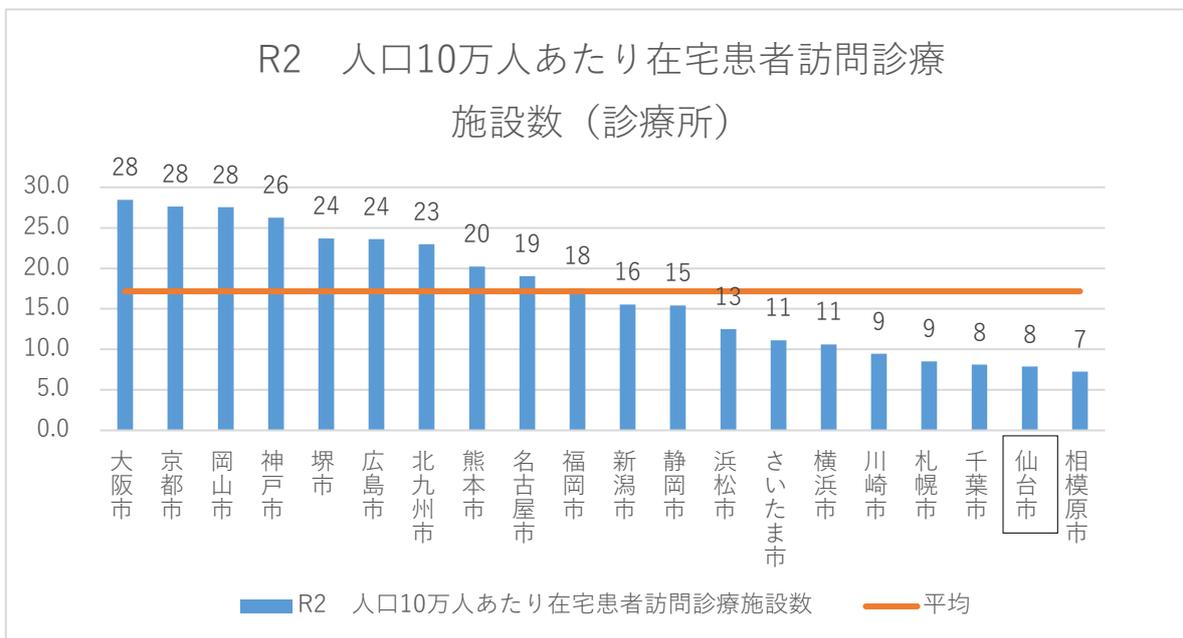


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●在宅患者訪問診療施設数（診療所）

仙台医療圏（令和2年実数）	121
仙台市（令和2年実数）	84
医療圏に占める仙台市シェア	69.4%

仙台市 在宅患者訪問診療施設数（診療所）
R2:84、H29:89、H26:99

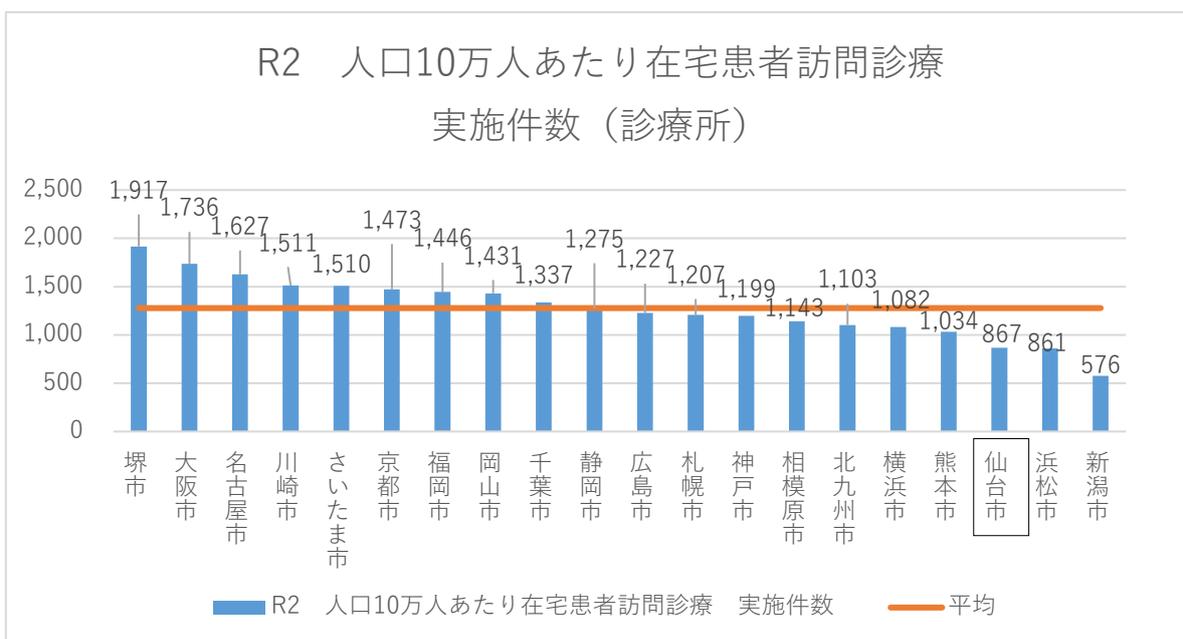


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●在宅患者訪問診療実施件数（診療所）※実施件数は9月中の数

仙台医療圏（令和2年実数）	12,435
仙台市（令和2年実数）	9,240
医療圏に占める仙台市シェア	74.3%

仙台市 在宅患者訪問診療実施件数（診療所）
R2:9,240、H29:8,154、H26:8,279

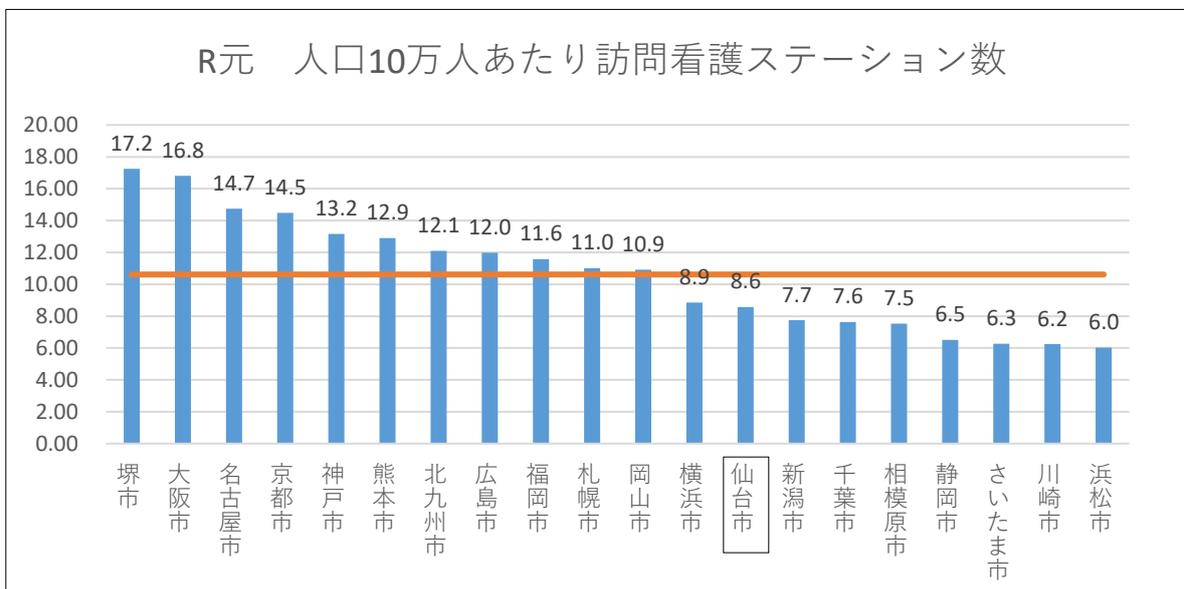


厚生労働省「令和2年医療施設調査」より

●訪問看護ステーション数

仙台医療圏（令和元年実数）	114
仙 台 市（令和元年実数）	90
医療圏に占める仙台市シェア	78.9%

仙台市 訪問看護ステーション数
R1:90、H30:88、H29:78

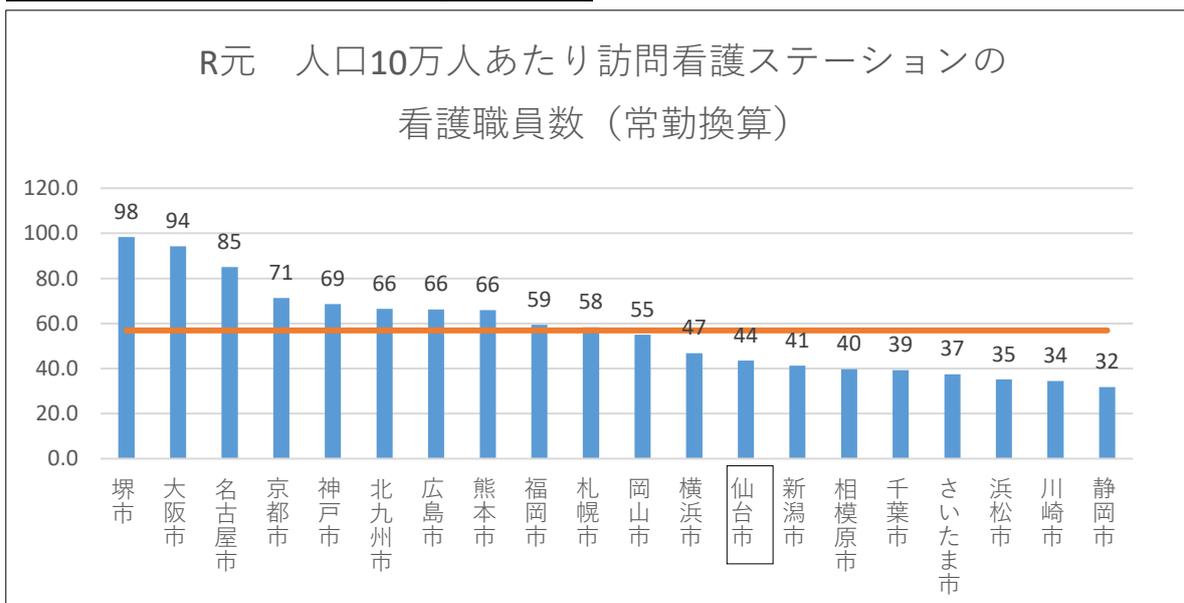


厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

●訪問看護ステーションの看護職員数（常勤換算）

仙台医療圏（令和元年実数）	601
仙 台 市（令和元年実数）	457
医療圏に占める仙台市シェア	76.0%

仙台市 訪問看護ステーション看護職員数
R1:457、H30:421、H29:390

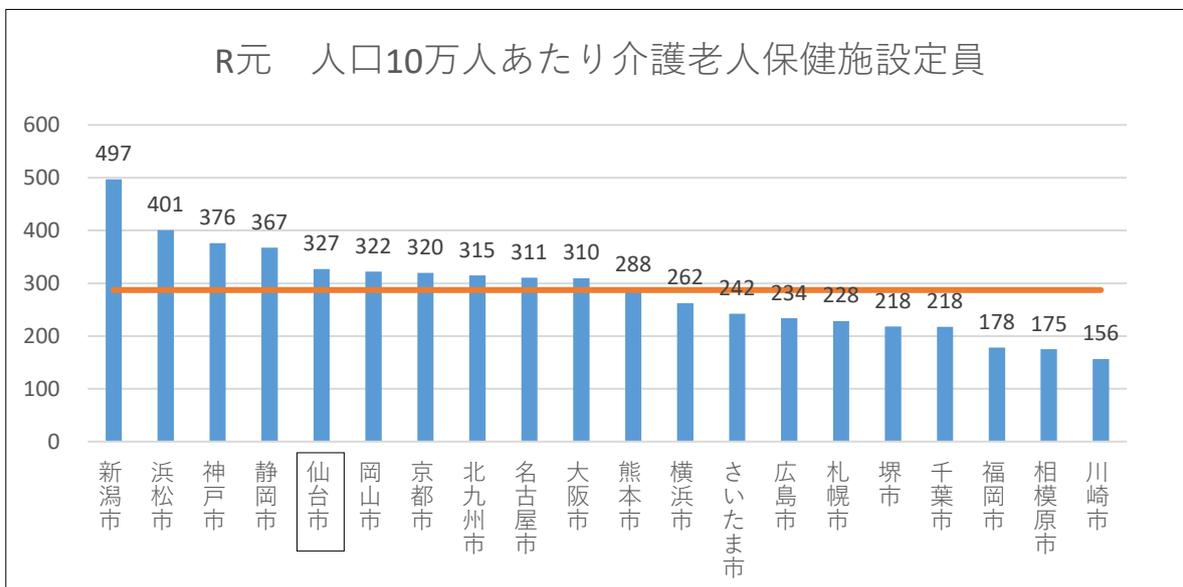


厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

●介護老人保健施設定員

仙台医療圏（令和元年実数）	5,064
仙 台 市（令和元年実数）	3,430
医療圏に占める仙台市シェア	67.7%

仙台市 介護老人保健施設定員
R1:3,430、H30:3,280、H29:3,080

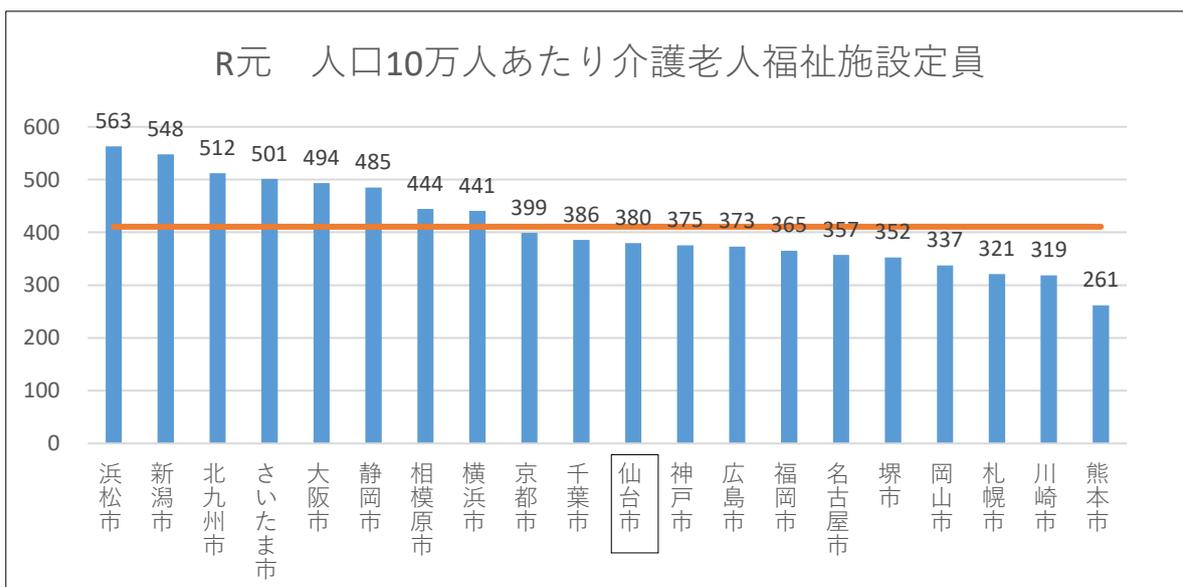


厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

●介護老人福祉施設定員

仙台医療圏（令和元年実数）	5,735
仙 台 市（令和元年実数）	3,985
医療圏に占める仙台市シェア	69.5%

仙台市 介護老人福祉施設定員
R1:3,985、H30:3,676、H29:3,312

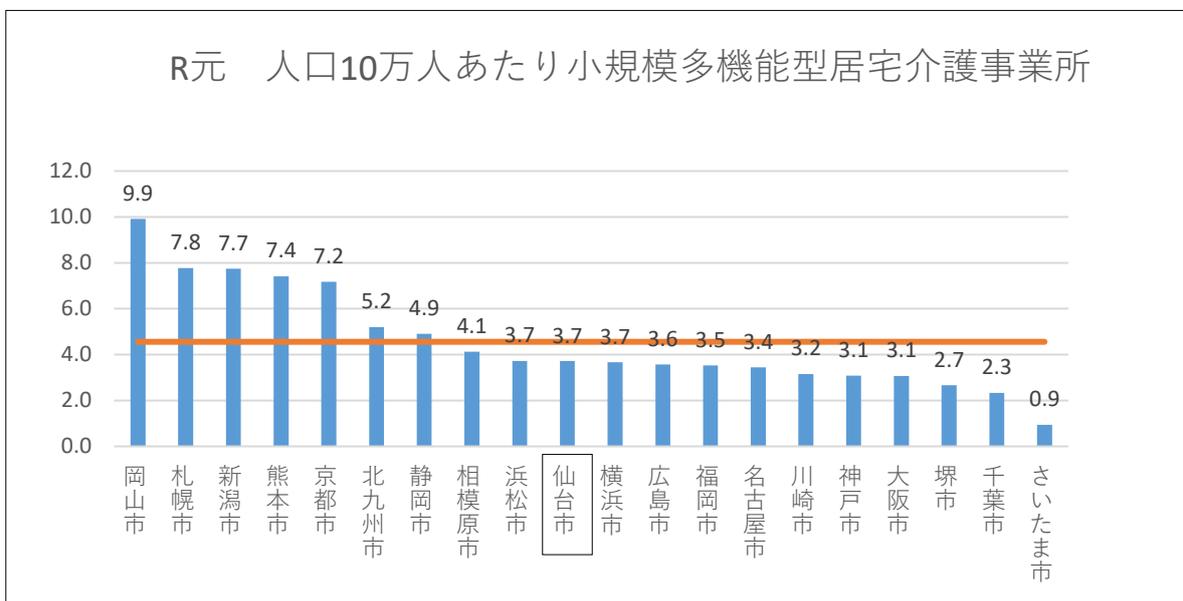


厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

●小規模多機能型居宅介護事業所

仙台医療圏（令和元年実数）	47
仙 台 市（令和元年実数）	39
医療圏に占める仙台市シェア	83.0%

仙台市 小規模多機能型居宅介護事業所
R1:39、H30:38、H29:36

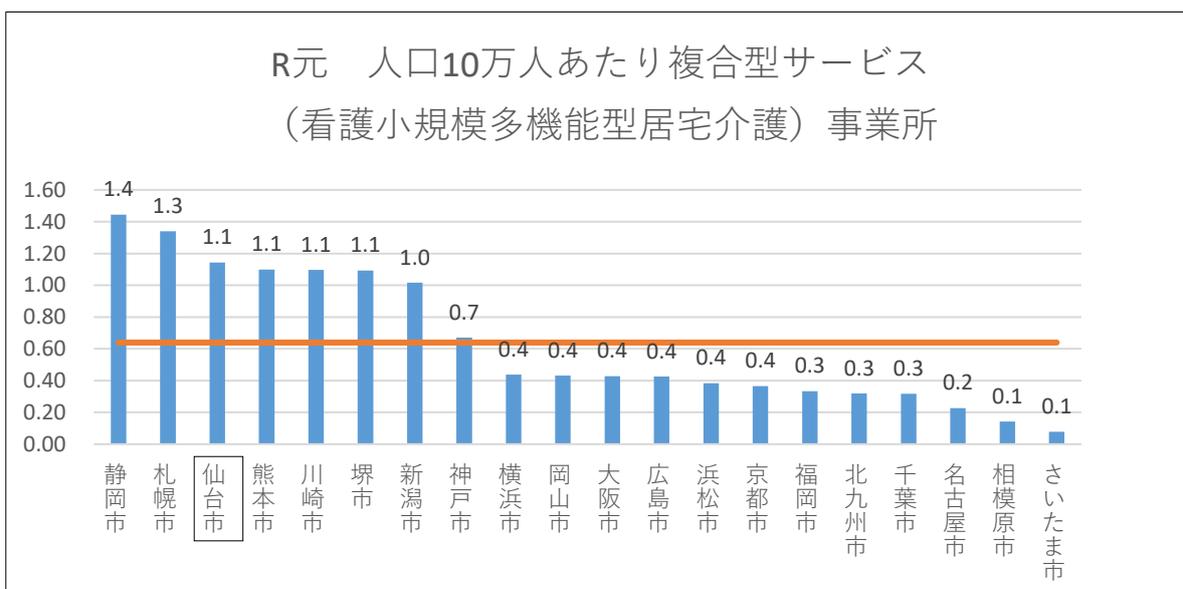


厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

●複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）事業所

仙台医療圏（令和元年実数）	14
仙 台 市（令和元年実数）	12
医療圏に占める仙台市シェア	85.7%

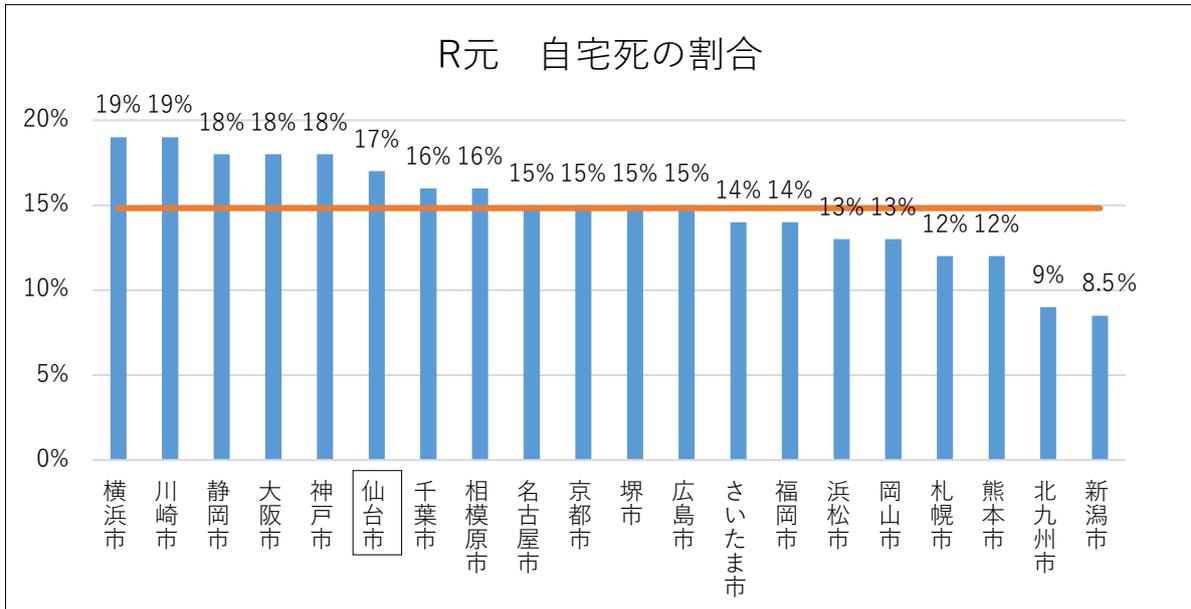
仙台市 複合型サービス事業所
R1:12、H30:11、H29:6



厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

● 自宅死の割合 ※自宅：自宅の他、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅を含む

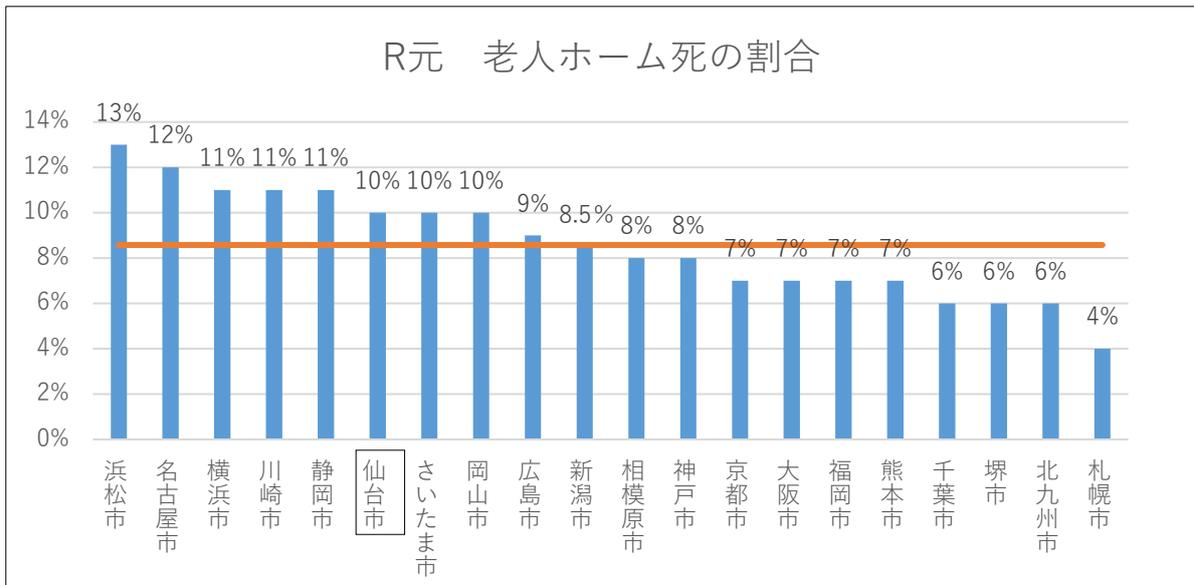
仙台市 自宅死の割合
R1:17.0%、H30:17.2%、H29:17.0%



厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

● 老人ホーム死の割合 ※老人ホーム：養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホーム

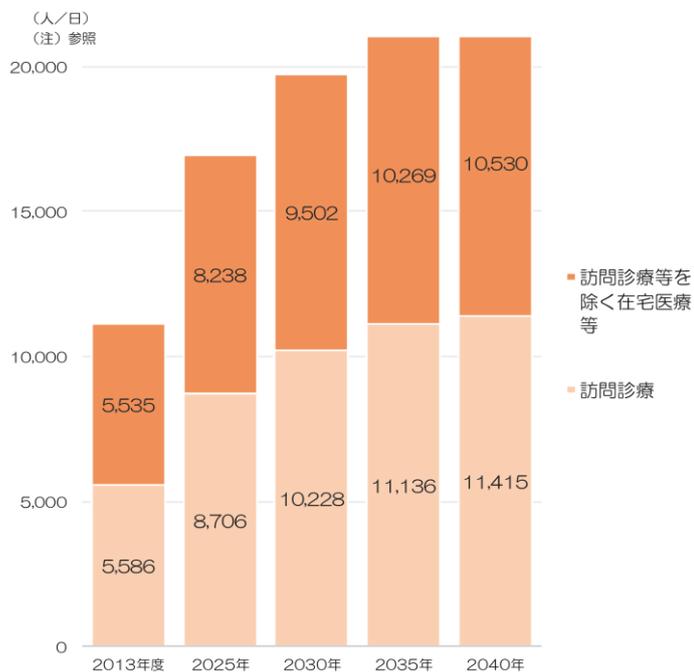
仙台市 老人ホーム死の割合
R1:10.0%、H30:9.0%、H29:8.2%



厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」より

IV 本市の在宅医療

1 在宅医療の需要について（仙台医療圏の需要）

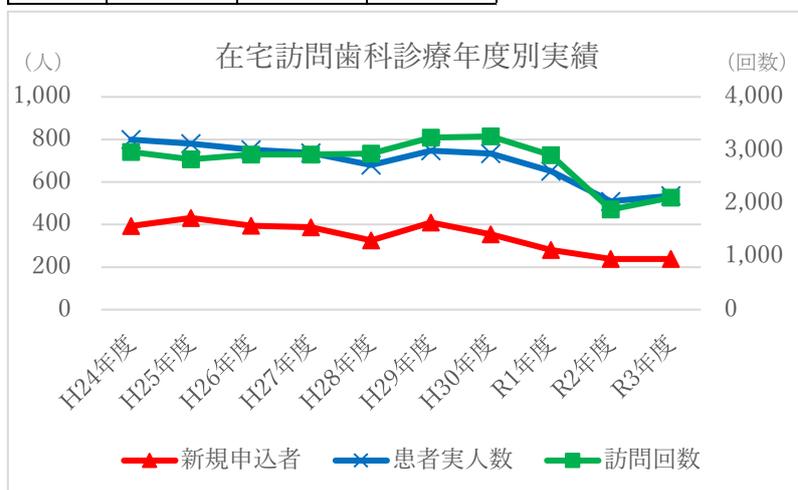


(注) 「訪問診療」は、1月当たりの在宅患者訪問診療料を算定している患者数

宮城県「第7次宮城県地域医療計画」より

2 在宅寝たきり者歯科診療事業について

	新規申込者	患者実人数	訪問回数
H24年度	393	799	2,962
H25年度	431	780	2,824
H26年度	395	752	2,917
H27年度	387	736	2,917
H28年度	326	680	2,933
H29年度	410	747	3,235
H30年度	354	734	3,257
R1年度	280	651	2,907
R2年度	238	509	1,882
R3年度	238	536	2,103

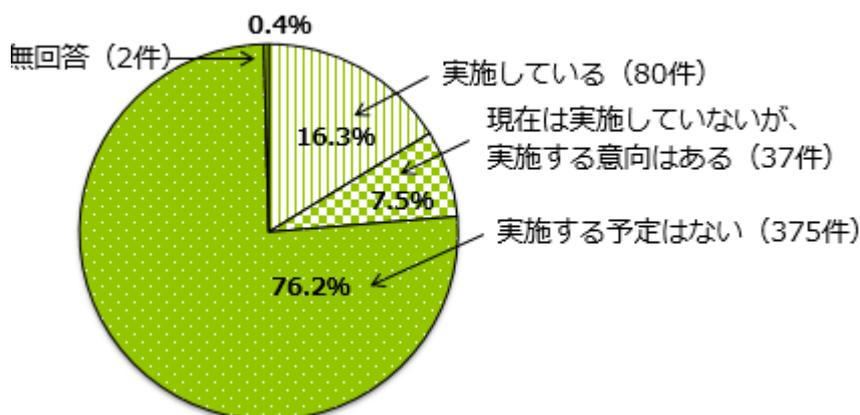


仙台歯科医師会 令和3年度診療統計報告書をもとに作成

3 市内診療所へのアンケート調査

将来的な在宅医療の必要量の増加への対策のため、平成 28 年 7 月に市内 787 診療所へのアンケート調査を実施し、492 件の回答を得た（回収率 62.5%）。在宅医療実施の有無についての質問では、「実施している」が 80 件（16.3%）、「実施予定がある」が 37 件（7.5%）、「実施する予定はない」が 375 件（76.2%）であった。

問 在宅医療実施の有無について

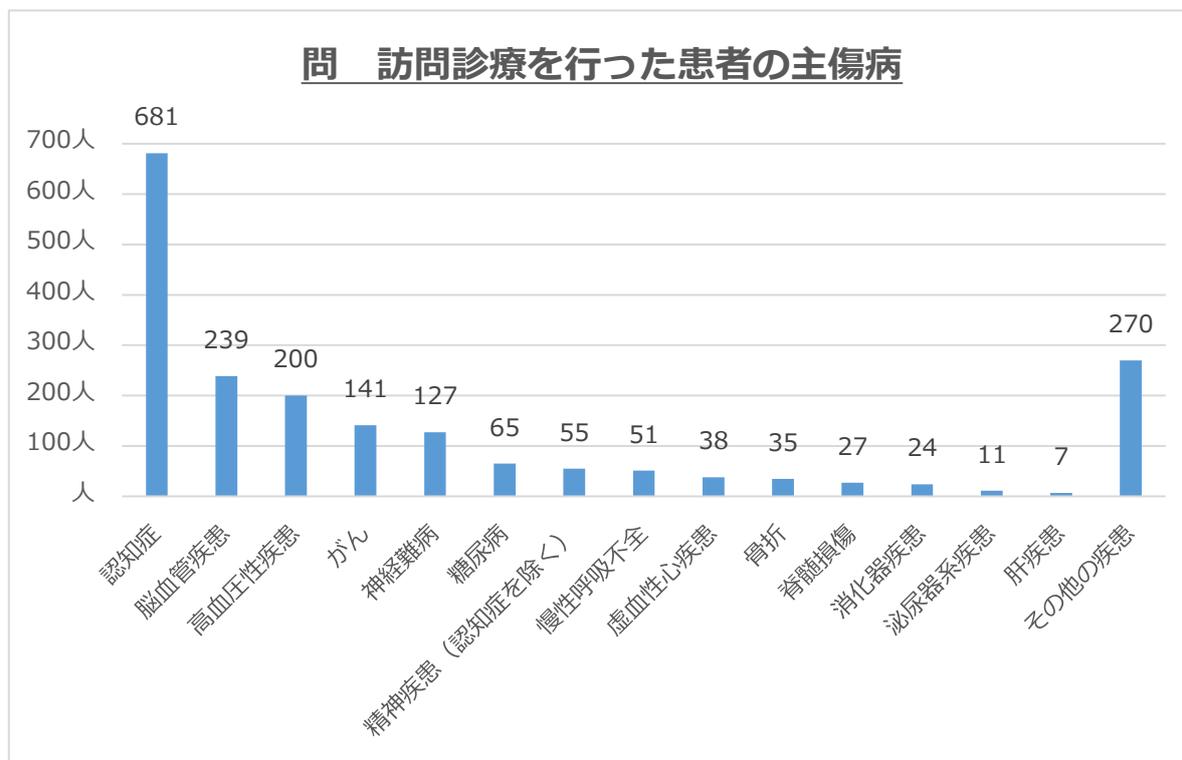


「実施する予定はない」と回答した理由は、「時間の確保が難しい」（311 件）、「スタッフがいない」（226 件）、「ノウハウ不足」（118 件）が上位を占めた。その他、在宅医療を希望する患者が受診したことはない等、現場でニーズを感じないとの意見も多くみられた。

問 在宅医療を実施しない理由について

時間の確保が難しいため	311件
スタッフがいないため	226件
実施するためのノウハウが不足しているため	118件
患者のニーズが少ないため	92件
必要性を感じないため	57件
日頃、他の在宅医療サービス提供者（訪問看護ステーション等）との関わりがなく連携することが難しいため	55件
診療報酬が低く採算がとれそうにないため	37件
その他	51件
無回答	1件

訪問診療を行った患者の主傷病は、「認知症」(681人)、「脳血管疾患」(239人)、「高血圧性疾患」(200人)が上位を占めた。

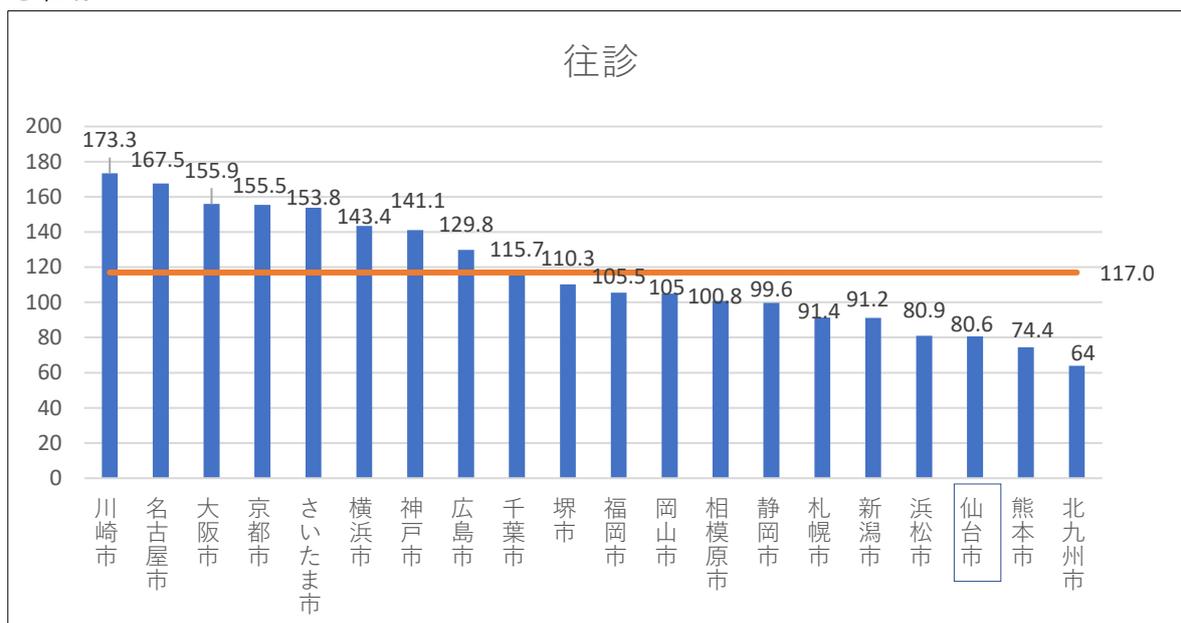


V 医療提供状況の比較（SCR より）

SCR とは、厚生労働省が公表しているレセプト情報等を集約した NDB（National Data Base）を活用し、各診療行為と薬剤の地域差を性・年齢調整済みのスコアで、100 が全国平均の医療提供状況を示し、100 を上回ると性・年齢調整後の人口規模に対して当該の医療提供が多い、100 を下回ると少ないことを意味する。

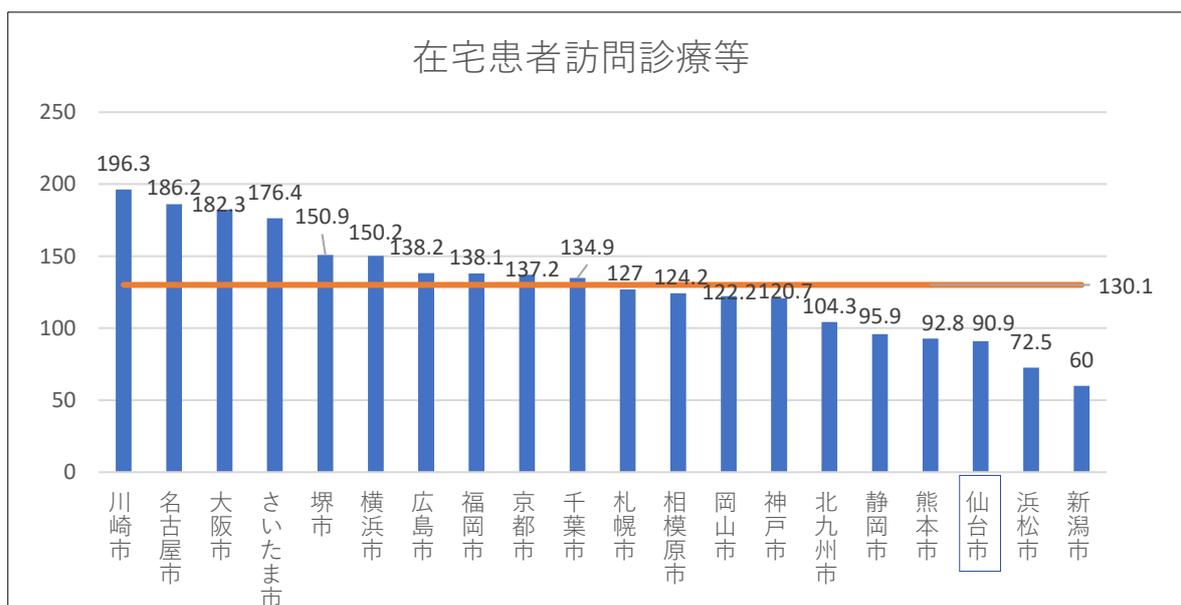
なお、集計対象としたデータに紙レセプトの医療機関、公費単独（生活保護等）の患者分は含まれていない。

●往診



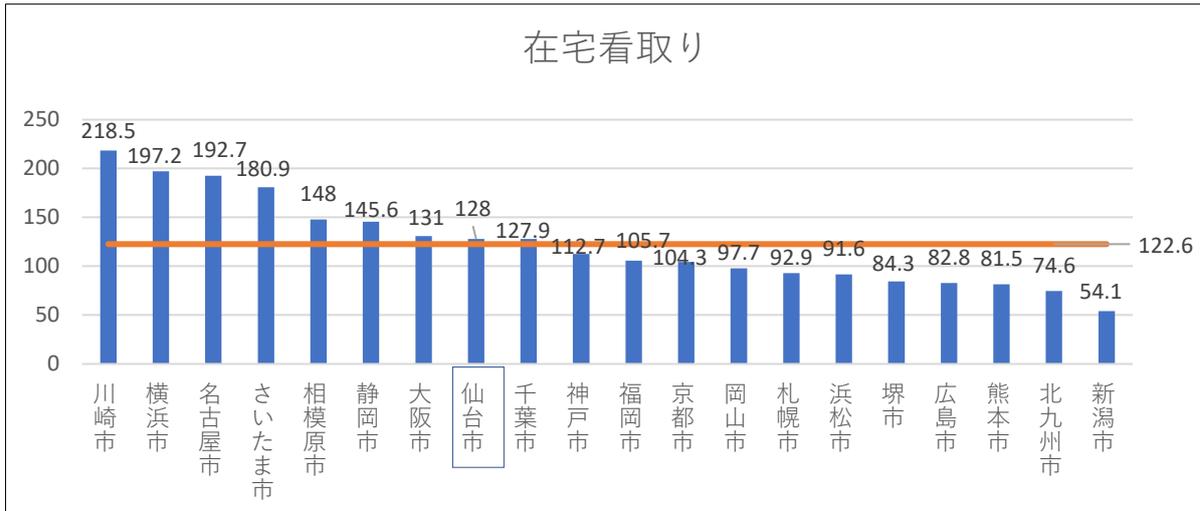
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅患者訪問診療等



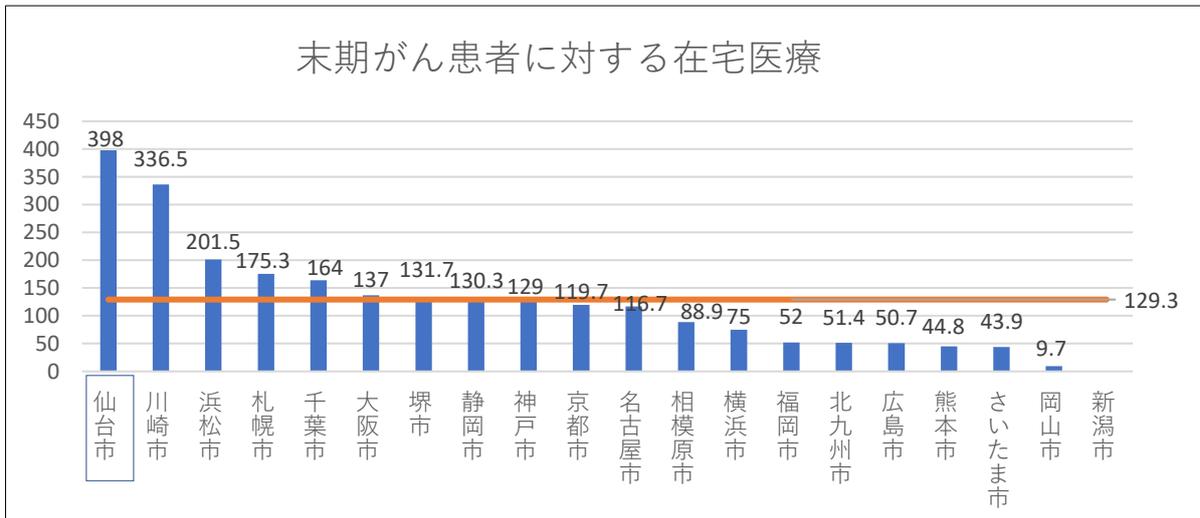
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅看取り



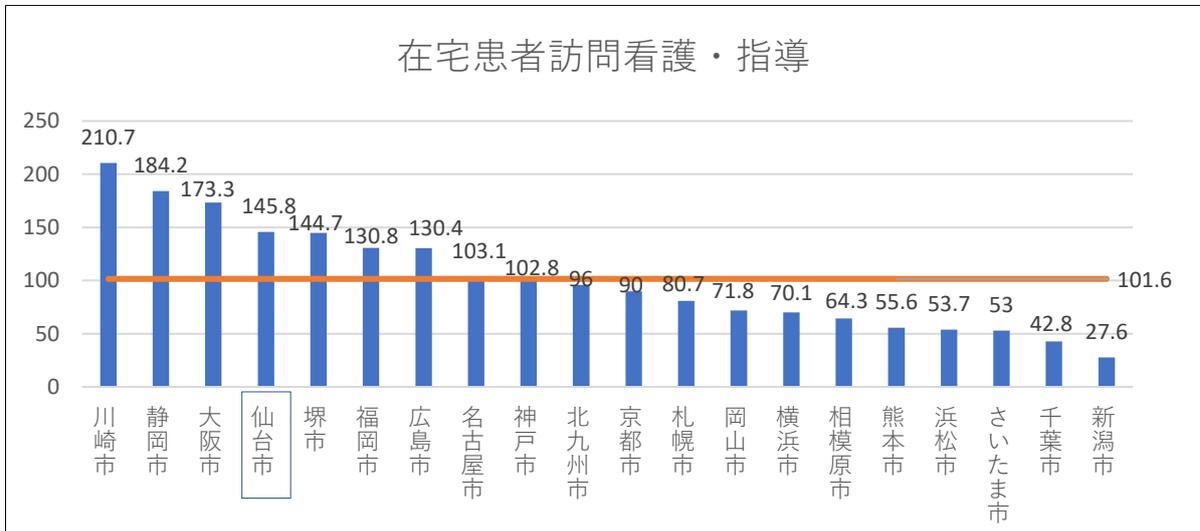
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●末期がん患者に対する在宅医療



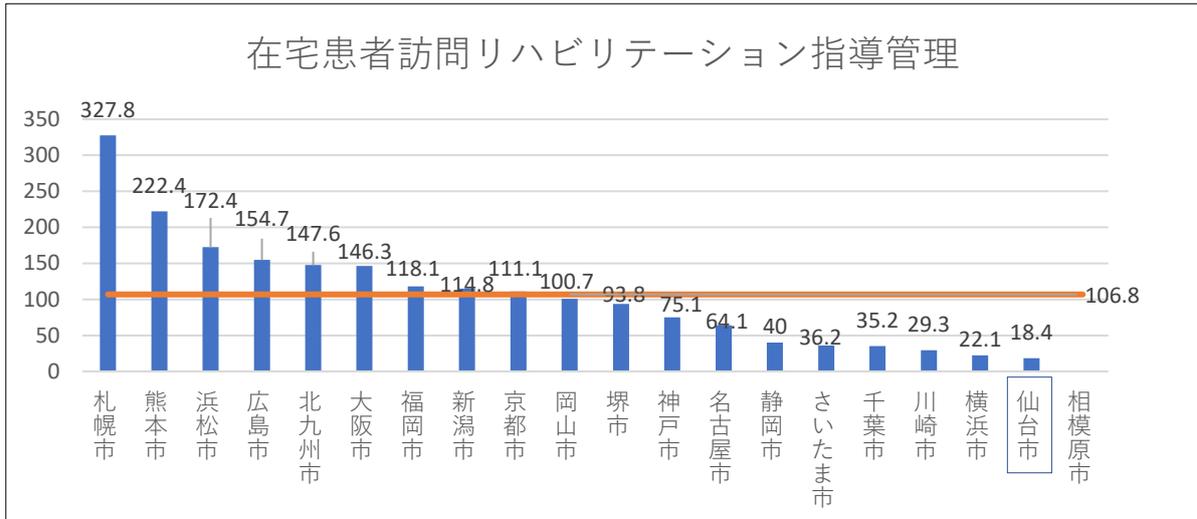
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅患者訪問看護・指導



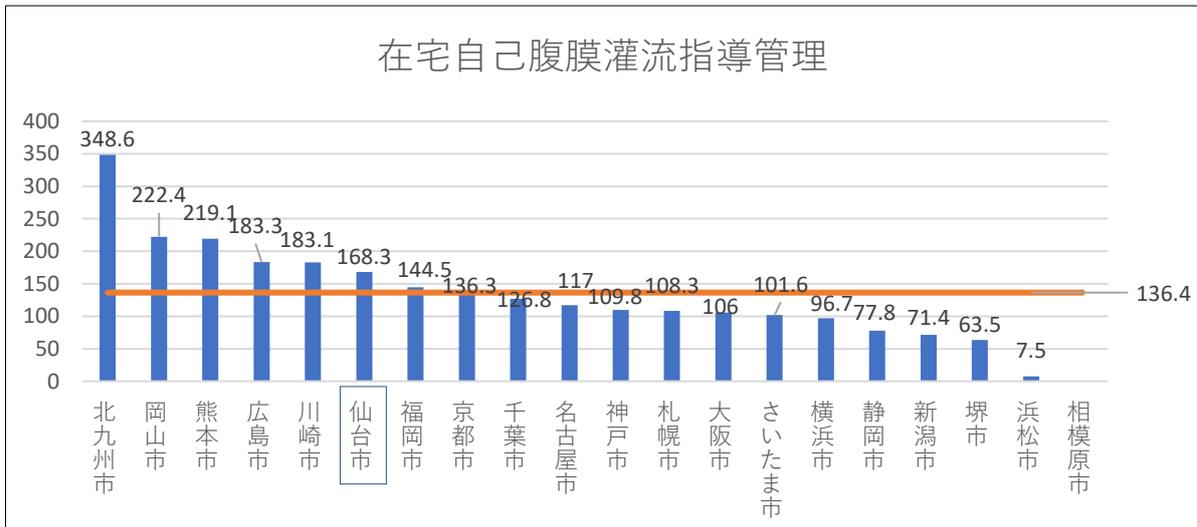
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅患者訪問リハビリテーション指導管理



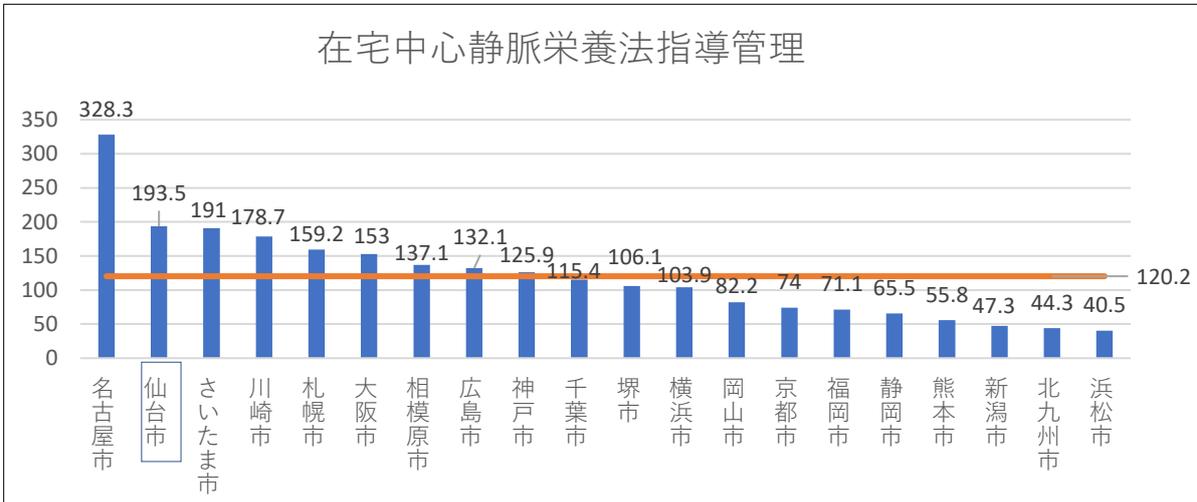
内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅自己腹膜灌流指導管理



内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より

●在宅中心静脈栄養法指導管理



内閣府「令和2年度診療分SCRデータ」より